

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から 3388 日原発再稼働糾弾！

第 324 号

編集・発行

テントひろば運営委員会

中部電力・浜岡原発の再稼働を許さない！ ひまわり集会 in しずおかに「反原発美術館」テントとともに参加して

11 月 16 日、静岡市駿府城公園で開催された「浜岡原発の再稼働を許さない!! 11.16 ひまわり集会 in しずおか」に参加しました。2016 年 8 月、経産省管理の敷地(国有地)から強制撤去された「反原発美術館」テントを、今年も集会で展示していただきました。



昨年に引き続き、宮城在住の美術作家・土屋聡さんも参加され、全国各地(仙台、福井、京都、郡山、経産省前など)の脱原発の現場のために土屋さんが描かれた作品が、テント内外に展示されました(写真:上)。

集会冒頭、実行委員長・林克さんの挨拶では、柏崎刈羽原発と浜岡原発の類似性が指摘されました。つい先日、新潟県知事の柏崎刈羽原発・再稼働容認発言が報道されましたが、浜岡原発はこの柏崎刈羽原発と同じタイプの原子炉(沸騰水型原子炉)だそうです。

柏崎刈羽原発では、事故時の避難道路が整備されていないとして、周辺自治体住民の 61%もが再稼働に反対しています。浜岡原発も同様で、避難経路とされる道路の大半は海に面しており、事故が起きた時に機能するのか疑問視されています。

そして、柏崎刈羽原発で作られる電気は東京へ、浜岡原発で作られる電気は名古屋へ、危険だけが地元押し付けられるという構造も同じです。だからこそ、浜岡から再稼働反対の声をあげるべきと訴えました。

集会のメインアトラクションは、フォークユニット「いなのとひら・のとこば」のライブ演奏でした。全国各地の市民運動の現場に呼ばれライブをするそうで、「想定内」「内閣総理大臣」という曲名からも分かるように、政治的な風刺・メッセージを込めたメ

曲が多いです。「内閣総理大臣」は、首相が変わるたびに歌詞が変わるそうで、この日は最新の、高市早苗バージョンが披露され、会場を沸かせていました。

集会実行委員のひとり、鍋田敏子さんからは、「ひまわりちゃん」の新作バナーを寄贈して頂き、静岡から経産省前テントひろばへ届けしました(写真下)。

今年も、テントの運搬を担当してくださった石塚さんはじめ、多くの方々のご協力によって、反原発美術館テントの展示を実現することができました。この場を借りてお礼申し上げます。



ひまわり集会の映像は、以下の URL または QR コードからご覧いただけます。ぜひご覧ください。(早川 由美子記)

<https://youtu.be/4cKtfq-lGug>



柏崎刈羽原発の再稼働に反対しよう

新潟県花角英世知事が、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を「了解」したと表明しました。県議会にて判断を仰ぐとしています。

しかし、新潟県が実施した県民アンケートにおいて、「再稼働の条件は整っているか」との設問に対し、「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」との回答が6割を超えました。

県民の意思は既に示されています。県民意思を確認すると繰り返し述べてきた知事がなぜ再稼働を「了解」できるのでしょうか。

ネット署名はこちらから

<https://c.org/jMTkKXvbRX>

紙版はこちらから

<http://kiseikanshi.main.jp/wp-content/uploads/2025/11/kinkyu.pdf>

トランプ政権の登場は戦後の日米関係を見直す チャンス—いい機会—ではないか

トランプの再登場は戦後の日米関係を見直すいい機会だと感じ、あるいはそう感じている人は少なくない。高市総理は「日米の黄金時代がやってくる」とはしゃいでいたが、とんでもない話である。誰かがこれは同盟ではなく、服従だと言っていたが、自発的隷属というべきだろう。

僕はトランプが再登場し、彼の言動を見聞きするにあたって、批評家・江藤淳が戦後の日米関係の矛盾の実態を暴いたことを思い出した。それは戦後の日米関係が対等で自由な関係にあるという理念が虚構に満ちたものであることを暴いたものだ。自由で対等な独立国家間の関係という理念の下、アメリカは戦後日本を占領から独立へ導いたとされた。が、アメリカが占領下でやった巧妙な検閲など自由の理念に反する行為をやっていたことを江藤は暴いた。アメリカは自由の理念の下で権力支配を巧妙にやっている、その欺瞞的構造を指摘したのだ。

これは戦後の日米関係が自由で対等なものとする理念の下で成立してきたという欺瞞を暴くものであった。この理念の下ではアメリカの日本支配(支配と従属)の関係が実体であることを摘出したといえる。

戦後の日米関係が自由で平等な関係という名の下で支配と従属という関係にあることはそれなりに認識されてきたことではある。左右の反米派から日米関係の見直しがいろいろと主張されてきた。これはなかなか広がらなかった。その一番の要因は政府から国民まで、国際関係の中で日米関係を基軸におくことが矛盾を持つにせよ、さしあたってはそれでいいという意識が浸透していたからだ。

この意識というか、壁が日米関係の見直しという動きを阻んできたのだ。だが、いま日本では、アメリカが「必要不可欠な国」ということから、「我慢のならない国」へと変化しているという記事をネットで見たが、僕もそう思う。これはトランプの言動に人々が感じていることであり、アメリカに対する意識の変化である。…中略…

例えば、トランプが日本は国家防衛のため戦争できる体制にせよと言ってきた場合、それに従うのか。それにもう一つ、アメリカが中国と対立し、戦争をはじめたら、アメリカは日本が中国に戦争をすることを要求する。かつて安倍晋三は、他国の戦争に介入できる道を開いた。例えば、アメリカと中国が戦争をはじめたら、アメリカ側に加担する道だ。これは、アメリカの戦争に日本が加担する道であり、トランプの要求に応じることだ。

今、高市の台湾有事における武力行使発言が物議をかもしているが、このことだ。中国の台湾への武力行使にアメリカが介入したら、日本はアメリカを守るために軍事行使をするということである。これはアメリカの武力行使に集団的自衛権を行使して同調するということだ。アメリカはこういう形だけではなく、アメリカと中国の戦争を、日本に代理させて日本に中国と戦争させるということもやりかねない。アジア人同士を戦争させるやりかただ。トランプは中国と戦争する事も考えているだろうし、その時に、日本を参加させるだけではなく、日本と中国を戦わせようとする。これがアメリカの同盟の本音だ。

日本とアメリカの戦争ということより、アメリカが他国(例えば中国)との戦争に日本を加わらせるという方が多いのだ。かつてのアメリカよりトランプのアメリカはその方向が強いのだし、そんなアメリカに従属する同盟を強めようとするのは危険である。

高市首相のトランプとの同盟強化発言は誰が考えても危険であり、今、見直さなければならない。高市首相の台湾有事における発言では、アメリカを守るか、台湾を守

るのが、はっきりしない。どちらにしても問題ではあるが、曖昧は一層危険だ。これは高市首相に中国関係に関する基本的な考えがないことを示している。台湾有事だというのが、それはどういう有事であるのか、その時に日本はどう対応すべきかの基本的な考えがない。

戦後の保守主義は、反社会主義(反共産主義)ということで中国と対立してきた。これは日中国交回復と冷戦構造の崩壊で変わったのである。かつてアメリカは中国と反社会主義ということで対立をしていたが、それはかわった。現在もアメリカは中国と対立している。それは国家主義的な対立である。これはトランプになってから強まってきたが、そのまま日本はアメリカに同調して中国に対立する必然性はない。これは台湾問題についてもいえる。…後略

11月21日 三上 治

◆「ガザ」停戦後のパレスチナ—ジェノサイドは続いている—



Palestinians walk through Gaza City on Thursday. (David M. M. J. Jansz/Anadolu/Getty Images)



講演会のお知らせ

12月14日(日)

14時半～16時半

会場：小金井市 市民会館

萌え木ホール3F・B室

主催：小金井平和ネット

講師：藤田 進さん

東京外国語大学名誉教授

略歴：82年イスラエルのレバノン侵攻、そして91年湾岸戦争の際にパレスチナ難民支援運動に取り組む。

著書に『蘇るパレスチナ 語りはじめた難民たちの証言』(東京大学出版会-1989)、編書に『世界史の中の「ガザ戦争」』(大月書店-2025.8)、パレスチナ人の怒りを新聞の1コマ漫画の形で発表した風刺漫画家ナージー・アル・アリーによる『パレスチナに生まれて』(原題 A child in Palestine、訳：露木美奈子、いそづぶ社-2010.6)の監修など。現在、ガザのアハリー・アラブ病院を支援する会の共同代表として活動を続けている。

集会・行動予定

◆ 11月26日(水) 12時～13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)

◆ 11月28日(金) 17時～18時
経産省前抗議集会(毎週金曜)

主催：経産省前テントひろば 場所：経産省正門前

◎ 経産省前の座り込み行動は、平日12時

～16時(月～木)、13～17時(金)◎

◆ 同日(金) 14時半～15時45分
118回 JKS47 月例祈禱会

場 所 経産省前テントひろば

◆ 11月30日(日) 12時～15時
脱原発・青空川柳句会・斎藤美智子さん追悼

主催：経産省前テントひろば・乱鬼龍

◆ 同日(日) 16時～18時

脱原発カフェ学習会：連絡先 080-5646-0794

◆ 12月3日(水) 東海第二原発運転差止訴訟控訴審
14時～第8回口頭弁論(東京高裁 101号法廷)

＜経産省前テントひろば＞

住 所：〒105-0003 港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F

・電 話：070-6473-1947

・郵便振替口座＝00160-3-267170

・口座名義＝経産産業省前テントひろば

WEB：<http://tentohiroba.tumblr.com/>

Mail address：tentohiroba@gmail.com